

議員協議会資料

長岡シティホールプロジェクト

## シティホールの基本設計について

2009. 1. 8

隈研吾建築都市設計事務所

nagaoka city hall

kengo kuma and associates



パース

---

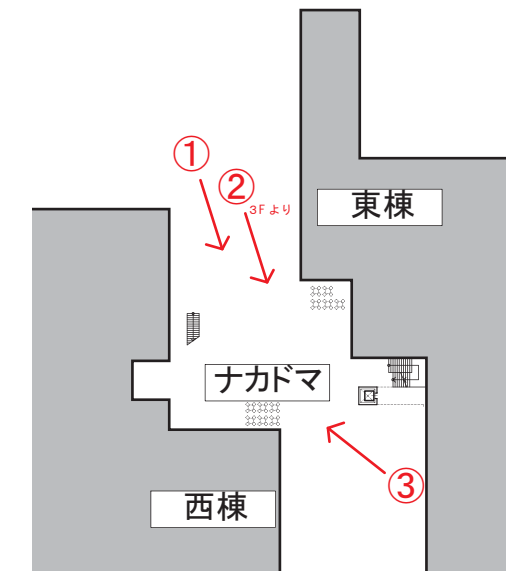


パース①: 大手通り側から見たナカドマ

# ナカドマ



大手通



キープラン

アリーナ棟

- ・土間調の床舗装と一部に地場産木材を活用した床
- ・300 インチの大型ビジョン
- ・建築を象徴する大屋根は、積雪時でも屋外イベントが開催できるとともに、さまざまな省 Co2 への取り組みを盛り込む
- ・長岡の精神文化歴史を表現する、千鳥格子パターンを、地場産の木をつかって壁・天井に展開する。



パース②: 3階ブリッジから見たナカドマ



パース③: 東棟側から見たナカドマ



パース④: 大手通りから見たシティホール



- ・市民ロビーと職員執務スペースとが一体的につながった空間。
- ・1階～3階まで最大で約9mの吹抜
- ・ナカドマと同じ土間調舗装床によりナカドマとの連続性のある、入りやすい建物となることを目指す。
- ・2階執務スペースは木格子スクリーンを配置。市民と職員の視線や雰囲気をつなぐ。

総合窓口吹抜を見る



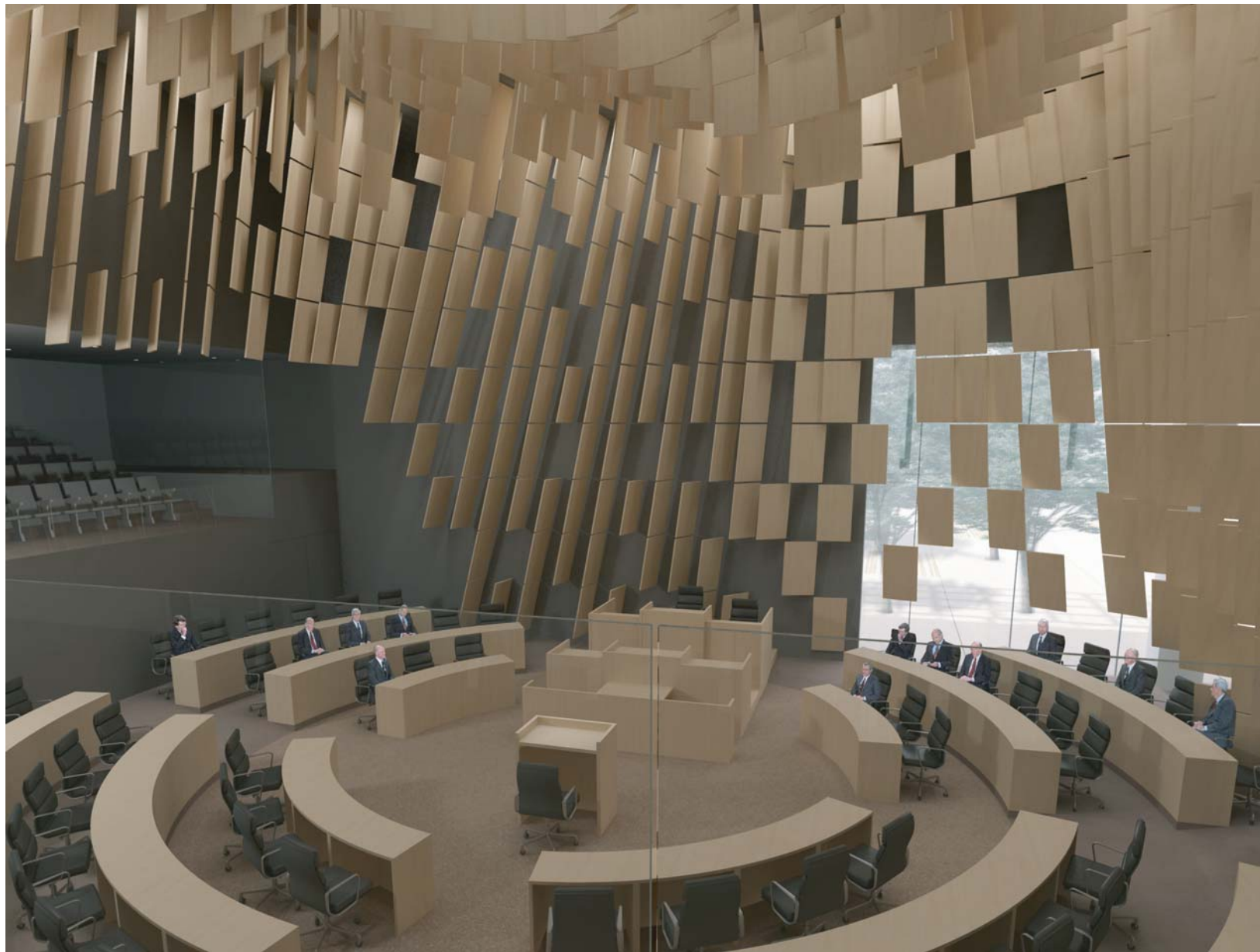
EVホールからエントランス方向を見る



2階執務空間から見た1階総合窓口

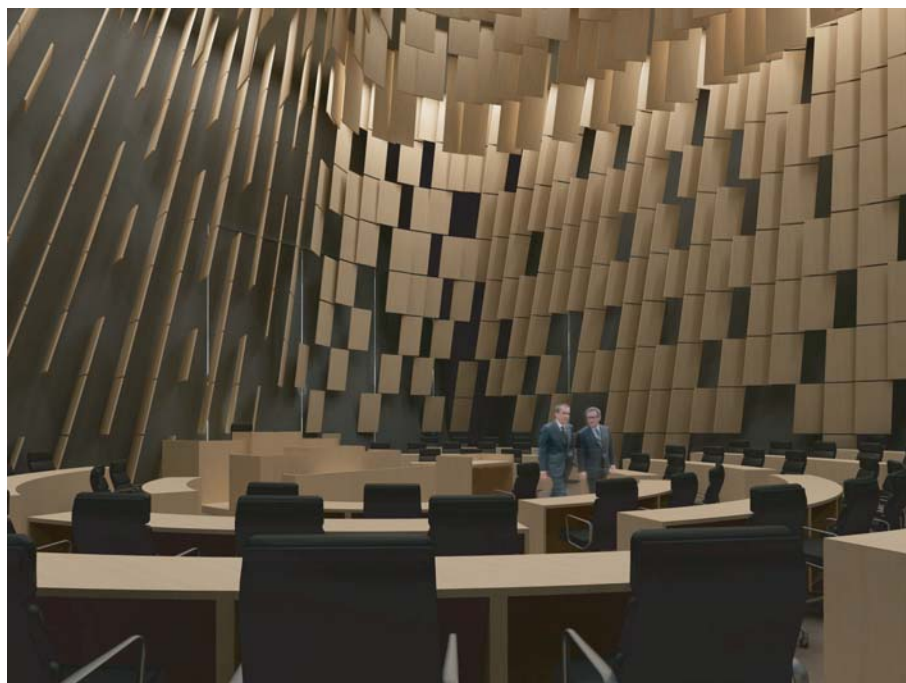


3階執務スペース



傍聴席（報道席）から議場を見る

- ・机は円形・すり鉢状に配置され、演壇の向かいに質問席を設け、活発で深い議論を促す空間とする。
- ・机の配置に呼応するよう配置された木スクリーンに包まれた格式の高い内装。
- ・天井高約10m
- ・ナカドマに面するガラス面は、議会開催中は視線を完全に閉じることができるしつらえとする。
- ・議員席は46席に対応可能とする。
- ・傍聴席（一般席65席、うち車いす用2席。報道関係者席18席）はL型に配置し、その他に親子での利用を想定し区画されたスペースを設け、様々な人が議会を傍聴することのできる計画とする。



ナカドマ側開口部を閉じた状態



議場から傍聴席を見る



大会議室

- ・約 5m の天井高
- ・声が聞き取りやすく、会議にふさわしい空間とする。



東棟 3 階会議室

- ・移動間仕切りによって、一体的に使ったり、2部屋に分割して使ったりすることができる。
- ・フレキシビリティを重視し、市民への貸し出しも可能なプランニング。

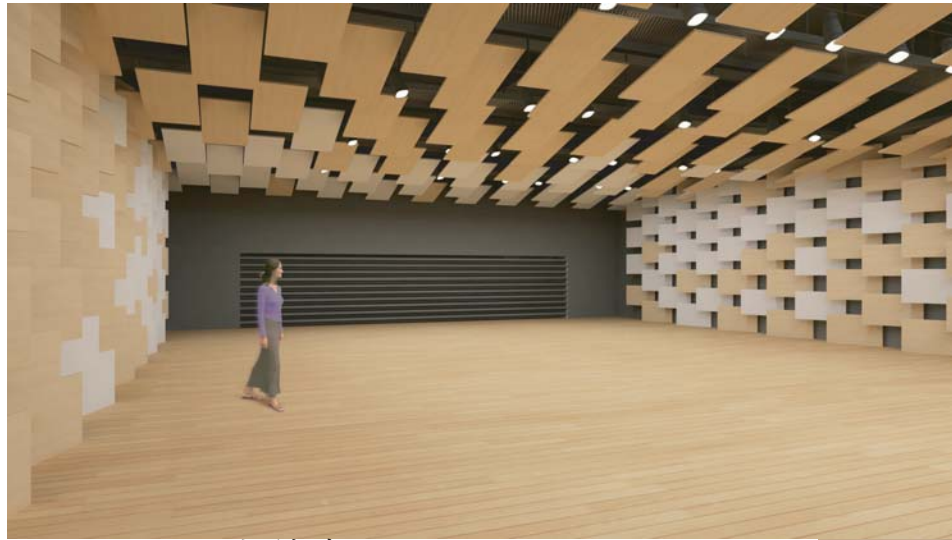


市長室



議長室

- ・市長室・議長室は開かれた行政、開かれた議会を象徴するよう、ナカドマに面して配置する。
- ・市長と議会が対等に対峙する立場であることを建築的にも表現する。
- ・天井仕上げには和紙を使うなどして、シンプルなしつらえで格式の高さを表現する。



ロールバック収納時

### 文化ホール

- ・天井高約4m
- ・ダンスができるフローリングと木スクリーンの壁面と天井に包まれた内装計画。
- ・ウロコ状の木スクリーンはホール全体に音を拡散させる効果を担う



客席から仮設ステージ方向を見る

### 市民活動スペース

- ・天井高約2.7m
- ・A, Bは移動間仕切りにより、一体的にも、分割しても使えるフレキシビリティに富んだスペース。
- ・ナカドマ(3階回遊テラス)に面して分散配置され、ナカドマに対するにぎわい演出効果を担う。



市民活動スペース A, B



市民活動スペース C

文化ホール仮設ステージから見た客席  
席数：200席





• 天井高 12.5m

• ナカドマと連続する木パネルと、ナカドマに面した大きな開口が、一体的な利用にも連続的に感じられる雰囲気をつくる。

• スポーツイベントや各種飲食系イベントなどにも対応できる設備仕様とする。

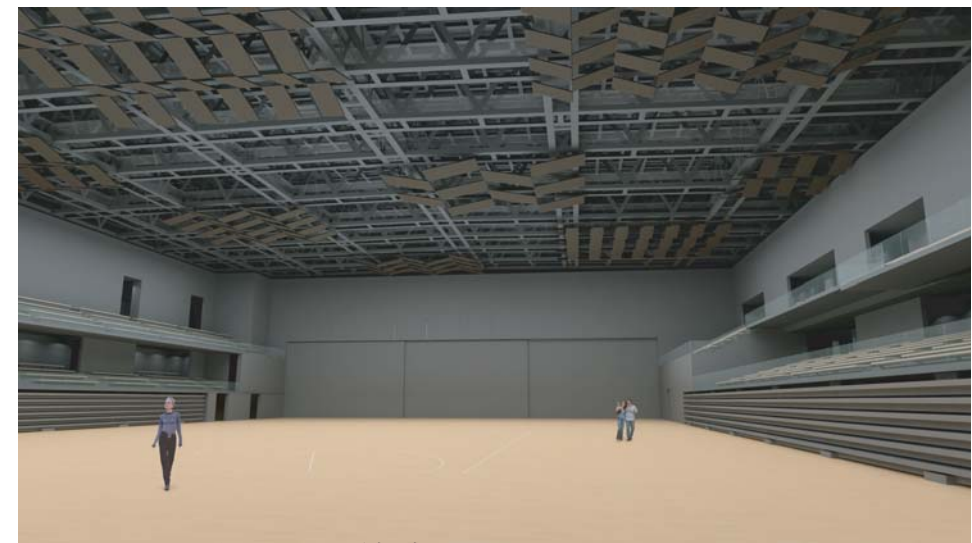
3階レベルからアリーナメインフロアを見る（ロールバック席展開時）



ロールバック席収納時



メインフロアからナカドマ方向を見る  
(ナカドマ面大開口開放時)

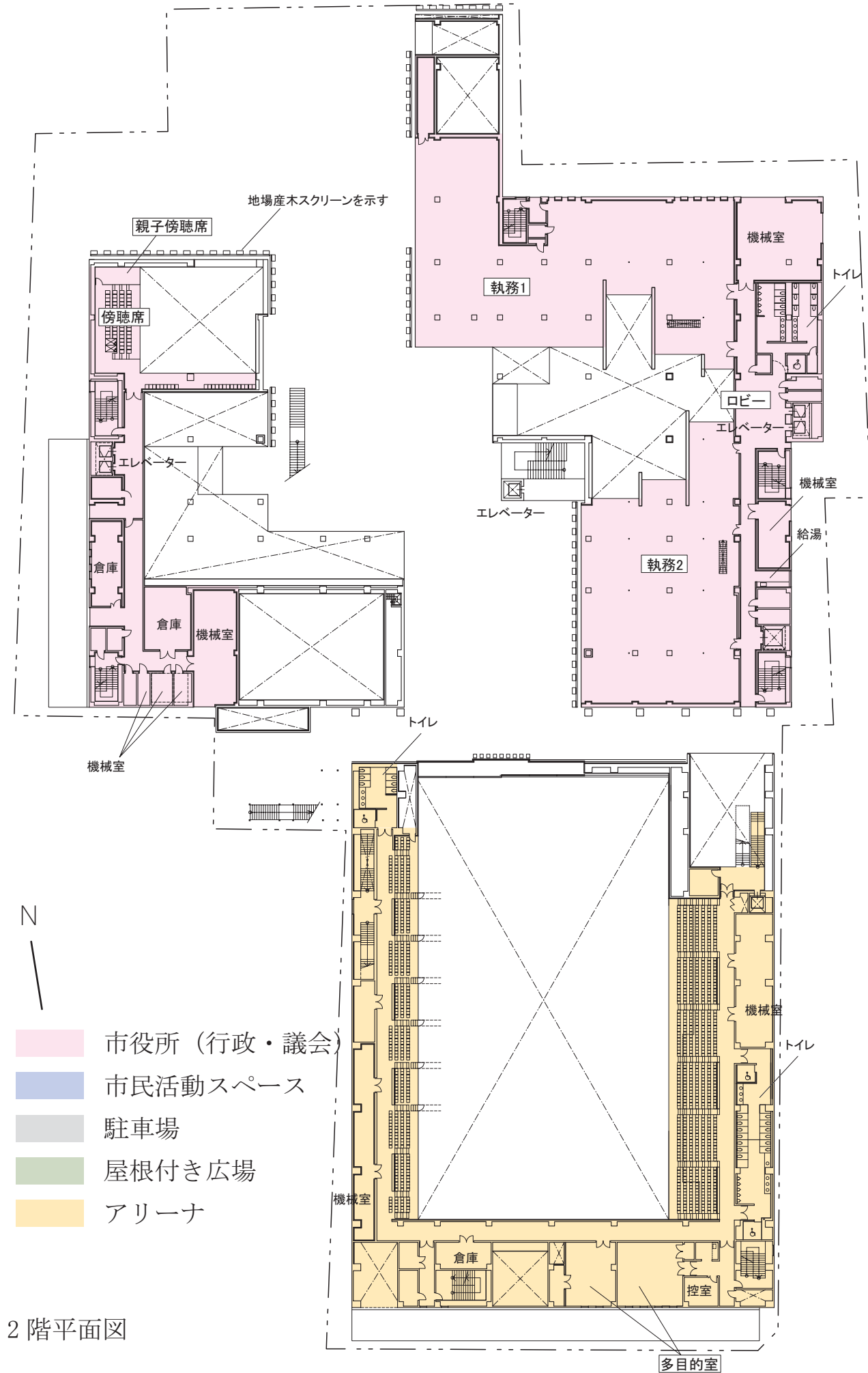


ナカドマ面大開口閉鎖時

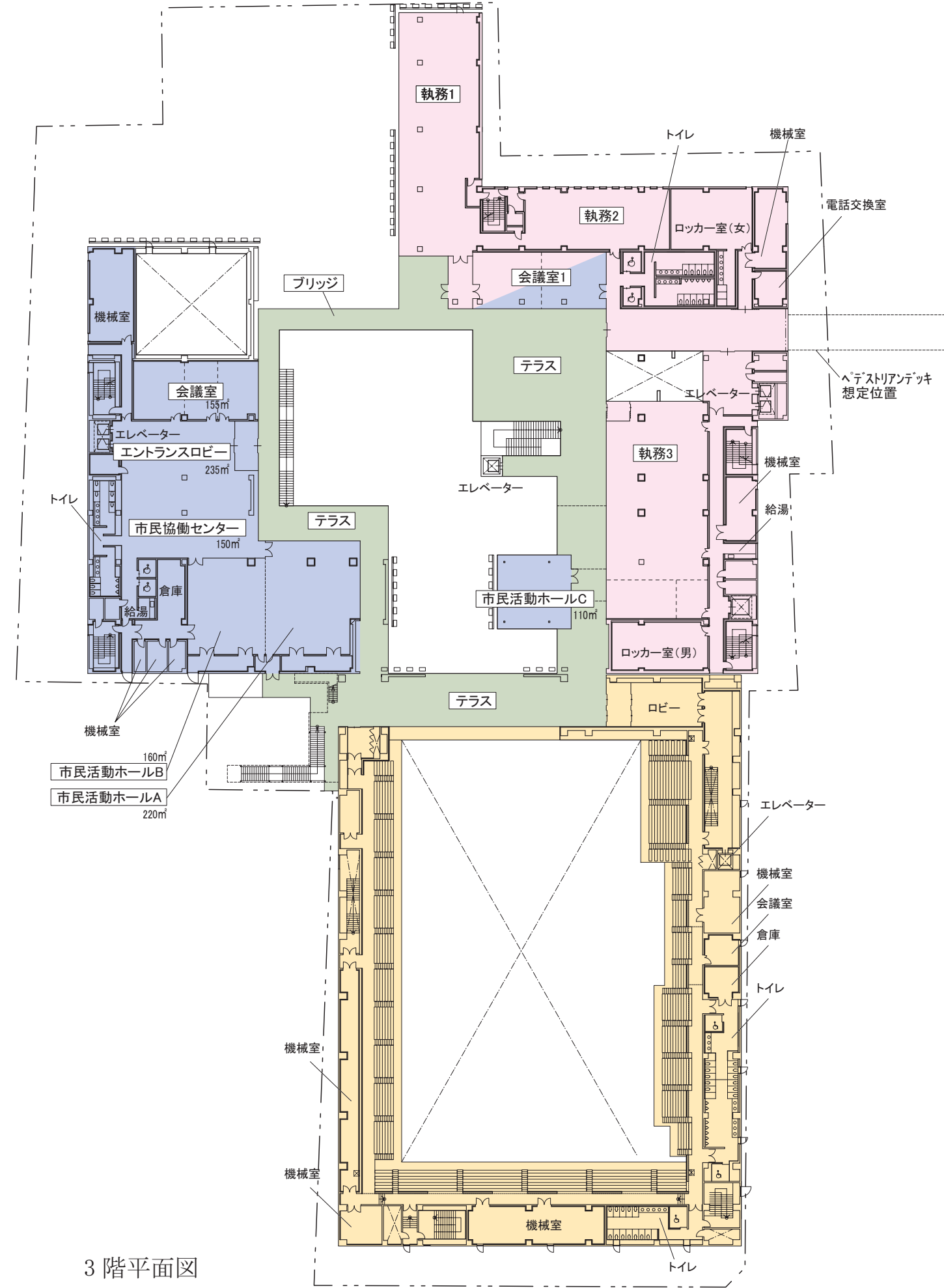
平面計画

---

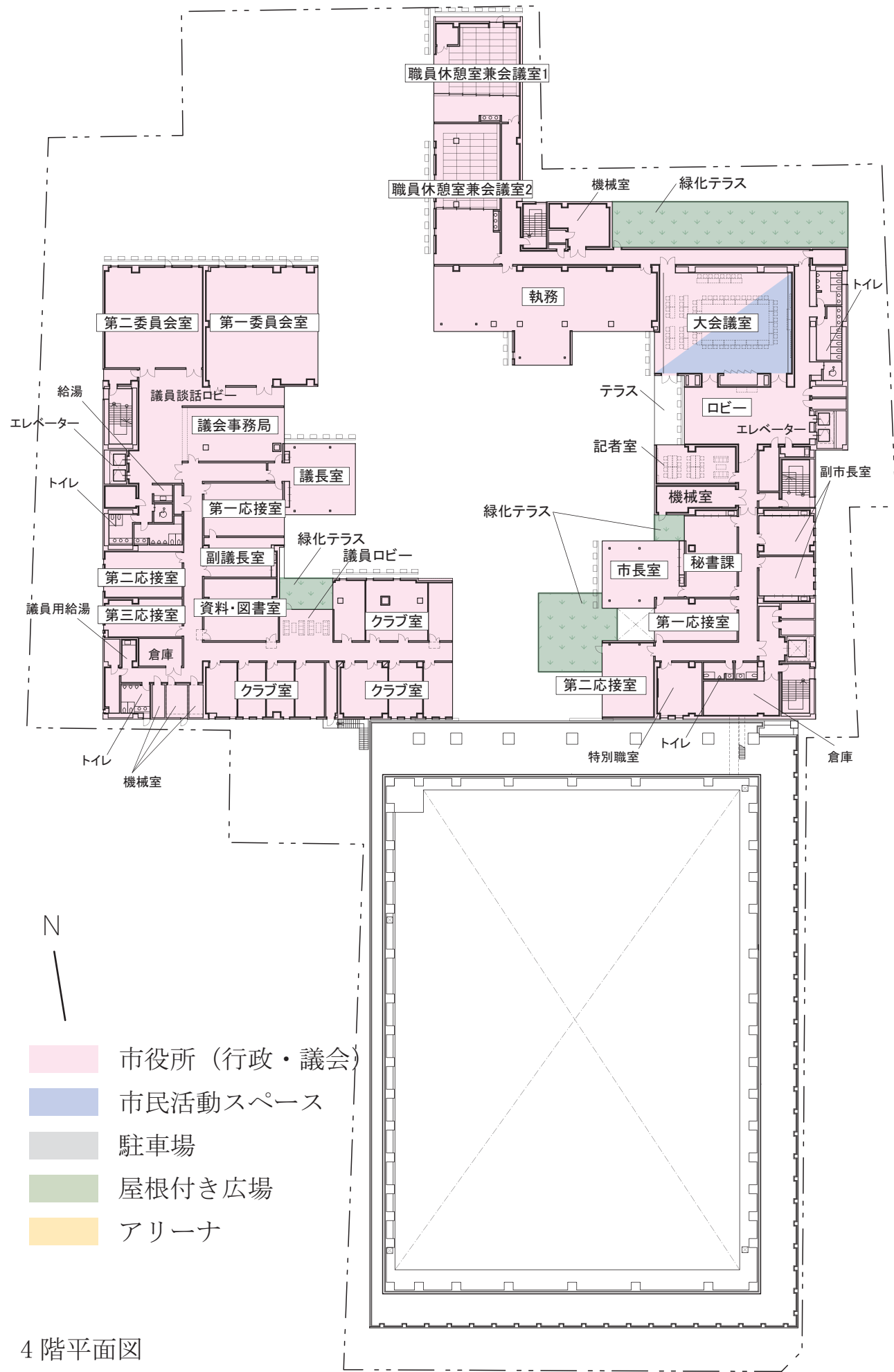




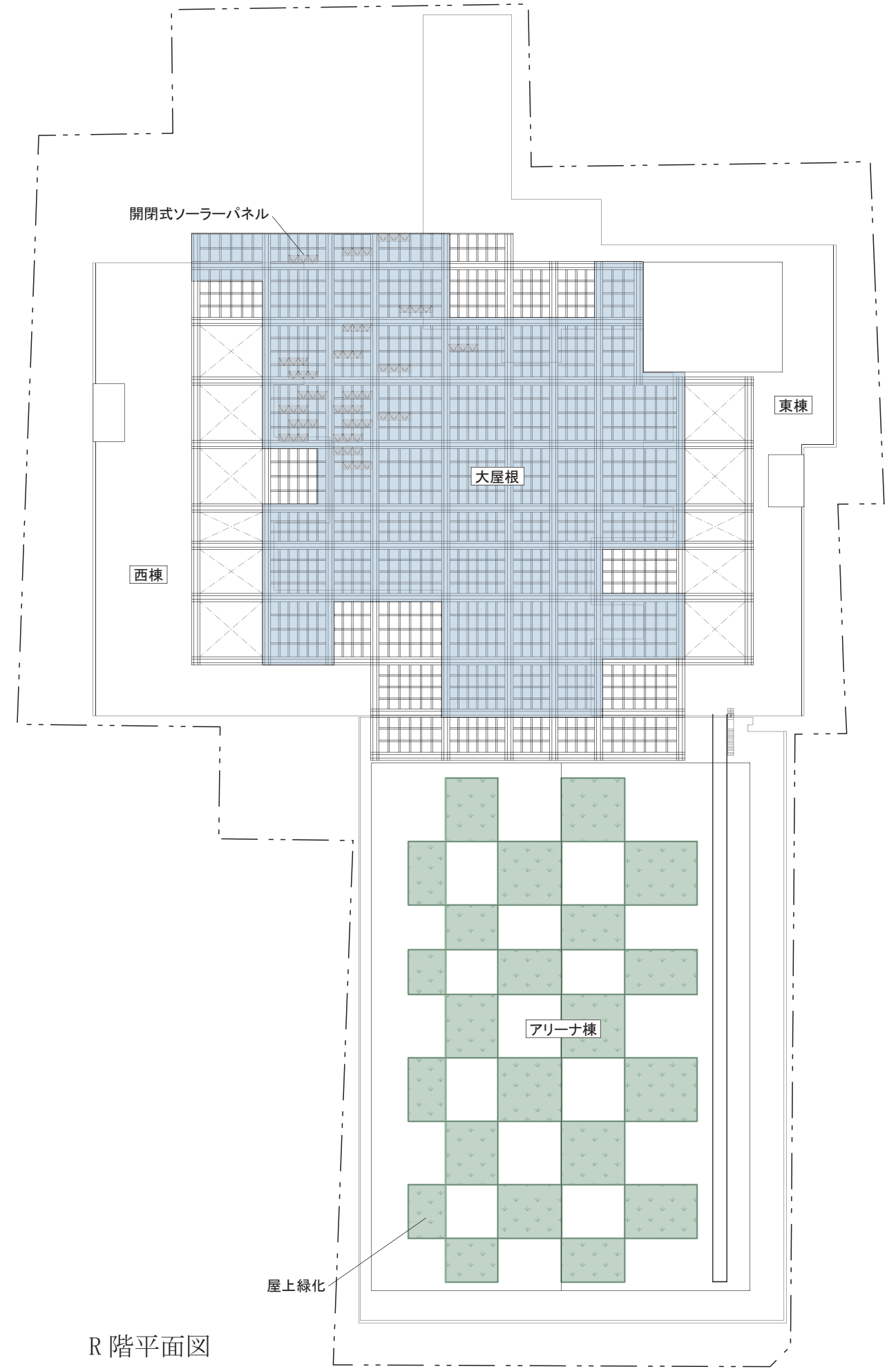
2階平面図



3階平面図



4階平面図



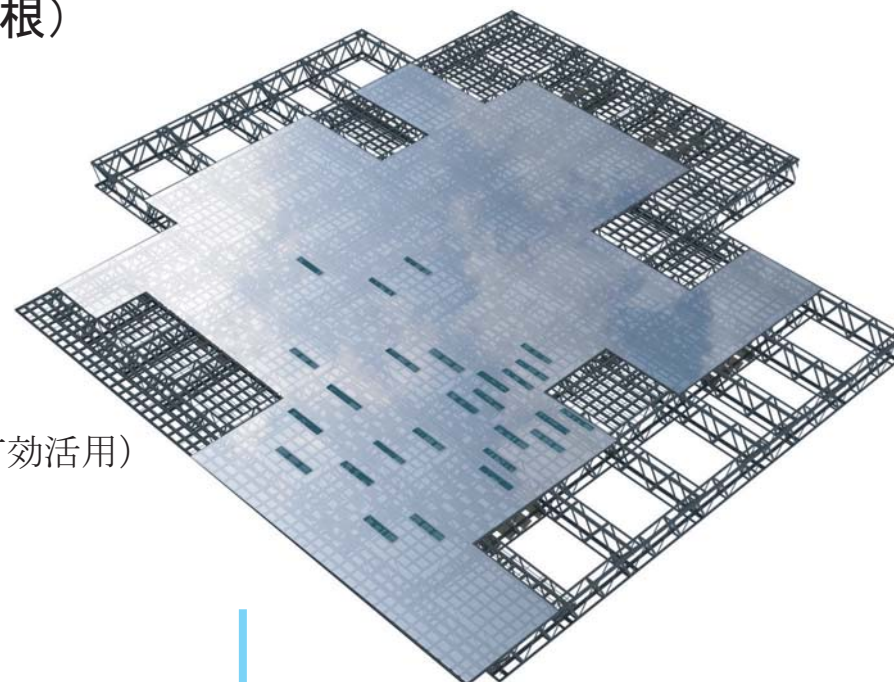
R階平面図

環境負荷軽減に対する配慮

---

### 雪国型省 Co2 技術統合屋根（ナカドマ大屋根）

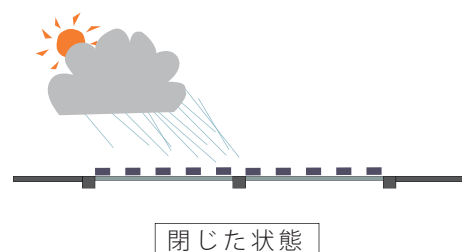
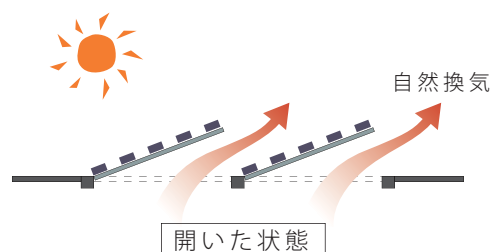
- ・融雪水雨水循環型環境制御システム  
（融雪・遮熱・ガラス清掃）
- ・雪国適応型開閉式太陽光発電・換気システム  
（発電・屋根下熱だまり解消）
- ・地場産木パネルによる遮熱・遮光コントロール  
（日射量のコントロールと地場産木材の有効活用）



冬期間屋外で活動が困難な雪国において、

積雪の影響を抑え、

まちの活動の巾を広げる環境制御システムとしての大屋根

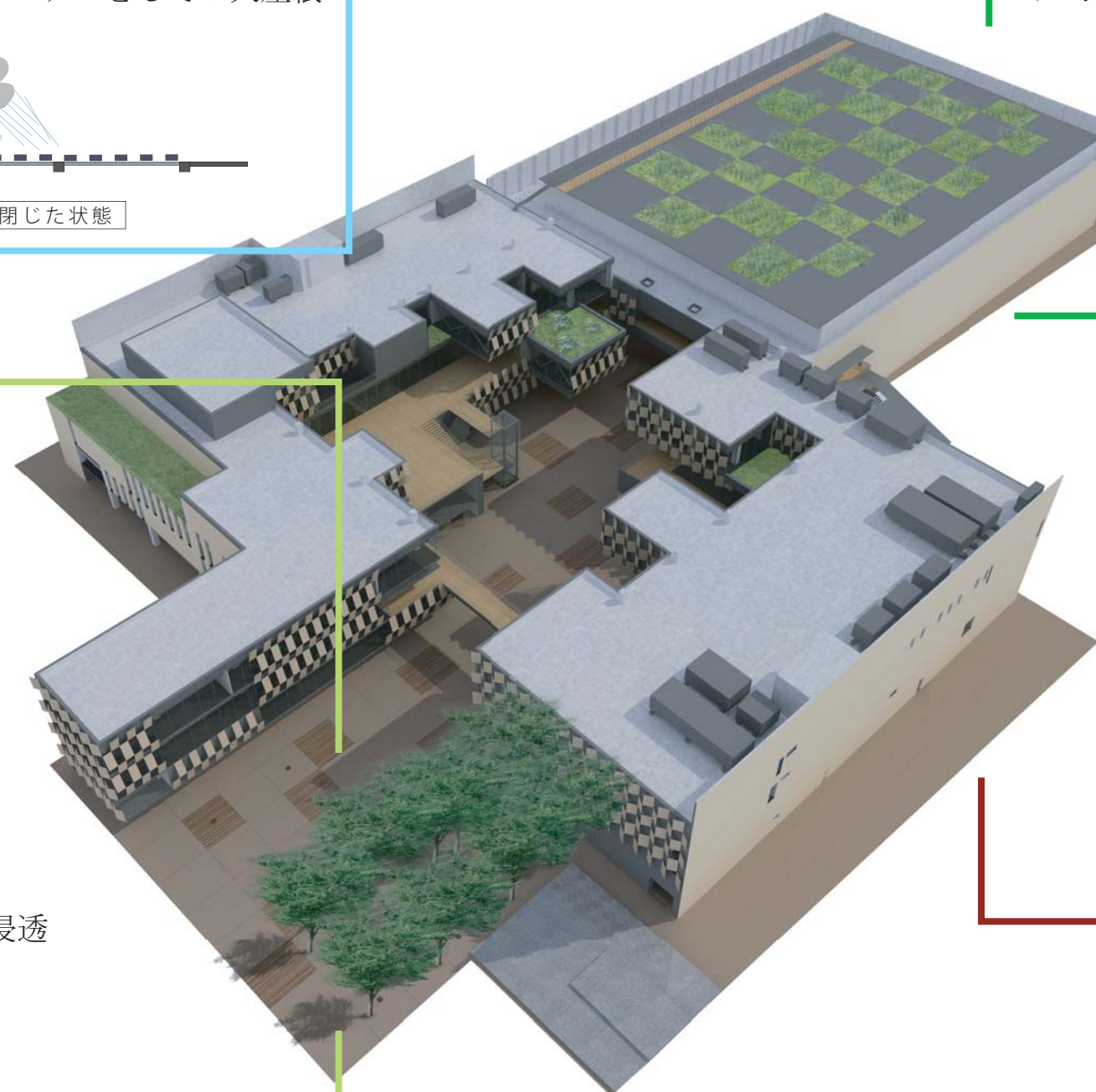


### アリーナ屋上緑化

- ・ワークショップによる種まきなど、  
市民活動への波及による環境意識の浸透
- ・都市ヒートアイランド現象の軽減

### 緑ストックの地産地消

- ・都市内緑環境の保存
- ・既存公園内樹木の移植
- ・地場産材の広場内ベンチなどへの活用
- ・市民ワークショップなどの開催による  
市民への環境意識の浸透
- ・都市ヒートアイランド現象の軽減



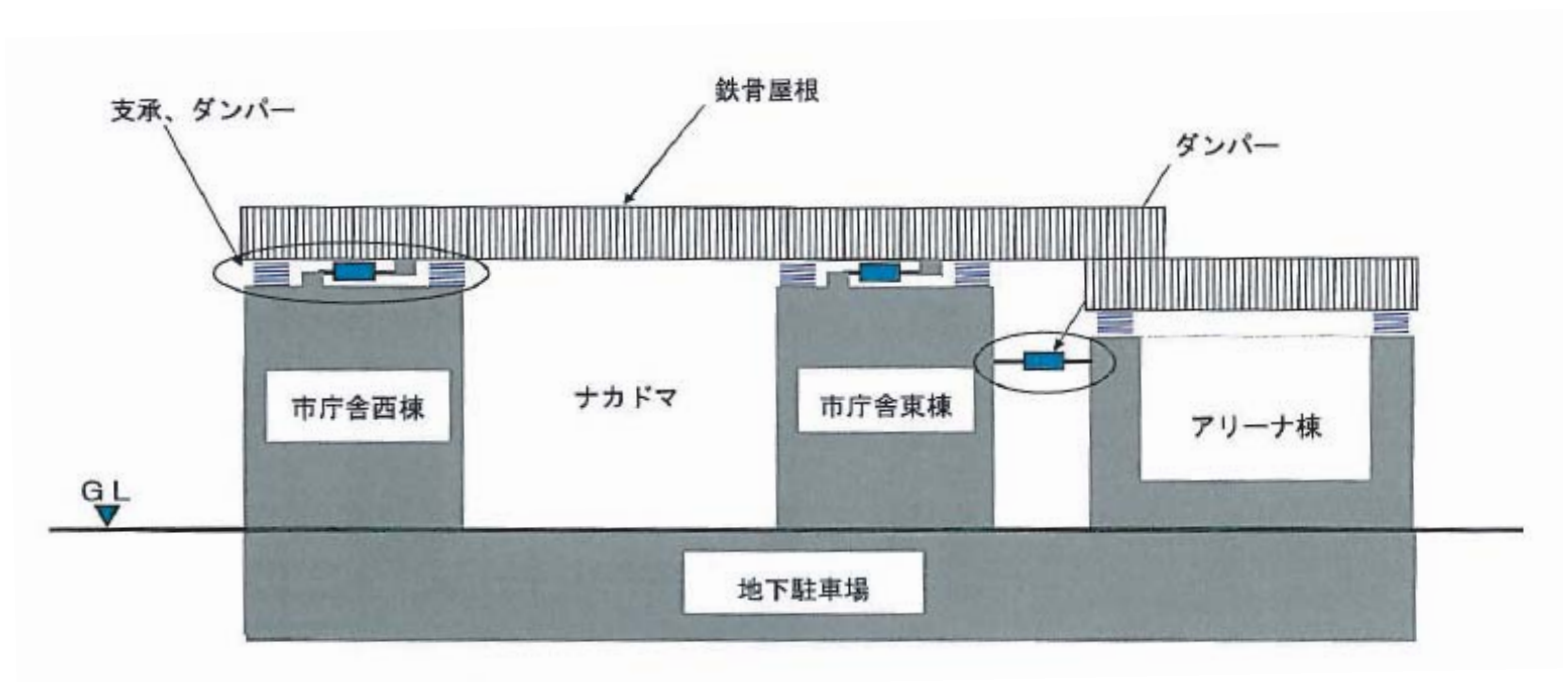
### 省 CO2・環境配慮機能の見える化

- ・生活をしながら、楽しみながら、  
省エネ技術に触れられる機会の創出
- ・市民生活への波及による環境意識の浸透・波及効果

## 耐震安全性能の向上をめざした構造計画

- 各棟とも耐震壁を適切に配置し、地震時には耐震壁が主に地震力を負担する計画としている。
- ナカドマ上部とアリーナ棟の屋根で各棟を連結することにより制震効果を図る。
- 災害時に建物に要求される機能から、大地震の後に、構造体に補修の必要がなく建物が使用でき、災害対策活動等に支障となる損傷が生じないことを耐震安全性の目標としている。

地番	：新潟県長岡市大手通1丁目4番地10		
用途地域	：商業地域、防火地域、多雪区域		
最高高さ	：21.065 m		
延床面積	：35,367.79 m <sup>2</sup>		
建築面積	：11,964.93 m <sup>2</sup>		
規模	：地上4階、地下1階、塔屋1階		
主要用途	：事務所、公会堂、自動車車庫、 日用品の販売を主たる目的とする店舗（テナント）、 飲食店（テナント）、銀行の支店（テナント）		
構造	：鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造、プレストレストコンクリート造		
基礎	：直接基礎（一部地盤改良）		
種別	：耐火建築物		
駐車台数	：（地下） 103 台、（地上） 17 台	計	120 台



建物断面概念図